

巻末資料

テクマトリックス株式会社
(東証1部 3762)

会社概要

商号: テクマトリックス株式会社
所在地: 本社 東京都港区高輪4-10-8
本社御殿山分室 東京都品川区北品川4-7-35
大阪支店 大阪府大阪市中央区南本町2-6-12
九州営業所 福岡県福岡市博多区博多駅前1-5-1
仙台営業所 宮城県仙台市青葉区大町1-1-8
名古屋営業所 愛知県名古屋市中区錦 1-17-26

設立: 1984年8月30日
資本金: 12億9,812万円
発行済株式数: 12,379,600株
従業員数: 2013年3月末現在 882名(連結)
平均年齢: 35.1歳
決算期: 3月
役員構成: 取締役5名(社外取締役1名)、執行役員制を導入
株主構成: 楽天株式会社31.01%

沿革

- | | |
|----------|--|
| 1984年8月 | ニチメン株式会社(現双日株式会社)の営業部門子会社「ニチメンデータシステム株式会社」として設立。 |
| 1996年12月 | 業務パッケージ事業に参入;CRMパッケージ「FastHelp」を自社開発し販売開始。 |
| 2000年7月 | ニチメン株式会社が全保有株式をITX株式会社に売却。同社の連結対象子会社となる。 |
| 2000年11月 | 社名を「テクマトリックス株式会社」へと変更。 |
| 2001年2月 | 関係強化を目的に、楽天株式会社に第三者割り当て増資を実施。 |
| 2005年2月 | ジャスダック証券取引所に上場。 |
| 2007年8月 | 合同会社医知悟を設立。 |
| 2008年1月 | クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化。 |
| 2009年8月 | 株式会社カサレアルを完全子会社化。 |
| 2010年6月 | 東京証券取引所 市場第二部に上場。 |
| 2013年2月 | 東京証券取引所 市場第一部に指定。 |

情報基盤事業

カテゴリー	ソリューション	主要取扱製品	備考
ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセス集中によるWebサイトの不安定化を解消 ・システム停止やバックアップなしにデータ容量追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・負荷分散^(※1)装置のトップシェアを誇る 米国F5 Networks社製品 ・クラスターストレージで技術的評価の高い 米国EMC (Isilon)社製品 	ネットビジネスの拡大による持続的成長
セキュリティ	総合的なセキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> ・「使い捨て」パスワードによる個人認証のトップシェアを誇る米国EMC (RSA)社製品 ・米国McAfee社製品 ・次世代ファイアウォール^(※2) 米国Palo Alto Networks社製品 	サイバー攻撃等が増加 セキュリティ監視サービス「 ∴ TRINITY < トリニティ > 」

独自の目利き力を活かし、北米を中心にニッチながらも、高い技術力、競争力、成長力をもつ製品やサービスを見極め、単なる製品販売にとどまらない高付加価値なフルラインのサービスをお届けします。

グリーンIT、仮想化^(※3)ソリューション^(※4)、次世代ネットワーク、セキュリティ、ストレージ^(※5)等、コスト競争力のある堅牢で可用性の高い情報基盤の構築をお手伝いします。加えて、企業向けシステム導入以降に必要な保守・運用・監視サービス等、システムのライフサイクル全てをカバーするITサービスを提供します。

連結子会社であるクロス・ヘッド株式会社ならびに沖縄クロス・ヘッド株式会社においては、ネットワークやサーバ^(※6)の運用・監視及びネットワークエンジニアの派遣、エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社においては、セキュリティ製品やストレージ製品の販売等を行います。

企業のITシステム投資の方向性が、設備の「所有」とサービスの「利用」と二極化しています。テクマトリックス・グループでは、一般企業向けに加えて、通信キャリアや大手のITサービス事業者へ製品、サービスの提供を行なうことにより、「所有」する企業に対しては直接的に、「利用」する企業に対しては間接的に情報基盤ソリューションの提供を行なっています。

アプリケーション・サービス事業(1)

分野名	顧客ニーズ	密接なタイアップ先	備考
医療	医療機関の 経営効率化	多様な販売チャネル 電子カルテベンダー 医療機器ベンダー	医療クラウドサービス「NOBORI」 地域拠点病院を核に地域医療連携へ展開 中小規模(100~400床)をターゲットに 350以上の施設に導入済

医療分野では、自社開発製品を中心として、医療機関向けに、さまざまな医用画像(CT※7)、MRI※8)、内視鏡、超音波、PET※9)などの統合管理システムを提供しています。また、複数の放射線科専門医と共同出資で設立した連結子会社、合同会社医知悟では、**遠隔読影診断**のためのインフラの提供サービスを展開しています。

分野名	顧客ニーズ	密接なタイアップ先	備考
CRM	コールセンタ※10) 業務の円滑化	ベルシステム24 エヌ・ティ・ティ・データ 交換機ベンダー	国産パッケージのトップを狙う 製品の共同開発も展開 550社以上に導入済 小規模から1,000席以上の大型センターにも対応

CRM(Customer Relationship Management)分野では、自社開発製品を中心として、企業の顧客サービス向上を支援するシステムを提供しています。電話、メール、インターネット等による「顧客との接触履歴」と「顧客の声」を一元管理しコンタクトセンター運営を効率化するCRMシステムを始め、インターネットによる自己解決型の顧客サービス・システムや、顧客特性に応じた販売促進活動を支援するプロモーション支援システムの開発・販売を行なっています。これらのシステムは従来のオンプレミス※11)だけでなくクラウド※12) (SaaS※13))によるサービス提供も行なっています。

アプリケーション・サービス事業(2)

分野名	顧客ニーズ	代表顧客	備考
インターネットサービス	ECサイトの構築 安定稼動の実現	楽天グループ、リスクモンスター、 パルシステム、エヌ・ティ・ティ・ドコモ	優良顧客との安定的な取引 クラウドサービス「楽楽バック オフィス」の展開

インターネットサービス分野では、主にウェブ系技術を活用したシステム開発^(※14)を行っており、開発するシステムのカテゴリーは、一般業務系、基幹業務系に広がっています。お客様の経営戦略に応じた多種多様なシステムニーズを満たす為に、システム企画・立案におけるシステムコンサルティングや要件定義・設計から、システム標準化を実践する開発およびテスト^(※15)、そしてセキュアで安定的なシステムの運用・保守サービスを提供いたします。株主である楽天株式会社は当該分野の顧客であり、同社の創業時よりショッピングモールのアプリケーション開発やデータベース開発等のシステム開発に関わっております。連結子会社である株式会社カサレアルはインターネットサービスに関連したシステム開発・利用技術教育を行なっています。

分野名	顧客ニーズ	代表顧客	備考
金融ソリューション	高精度なリスク管理 金融商品取引の管理	大手行、生保、損保、 金融系、IT企業	規制強化を見据えた金融機 関のデリバティブ取引をターゲ ット

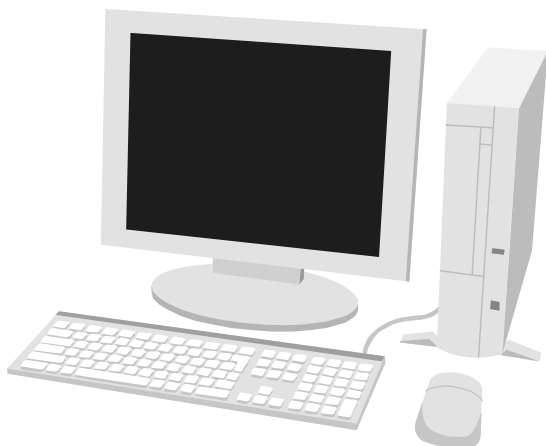
金融分野では、金融デリバティブ^(※16)商品や保有金融資産の時価評価、信用リスク^(※17)などを統合計量化するシステム等、金融工学の技術を駆使した様々なリスク管理システムの受託開発、自社開発製品の販売及び金融関連ソフトウェア製品の販売を行っています。

アプリケーション・サービス事業(3)

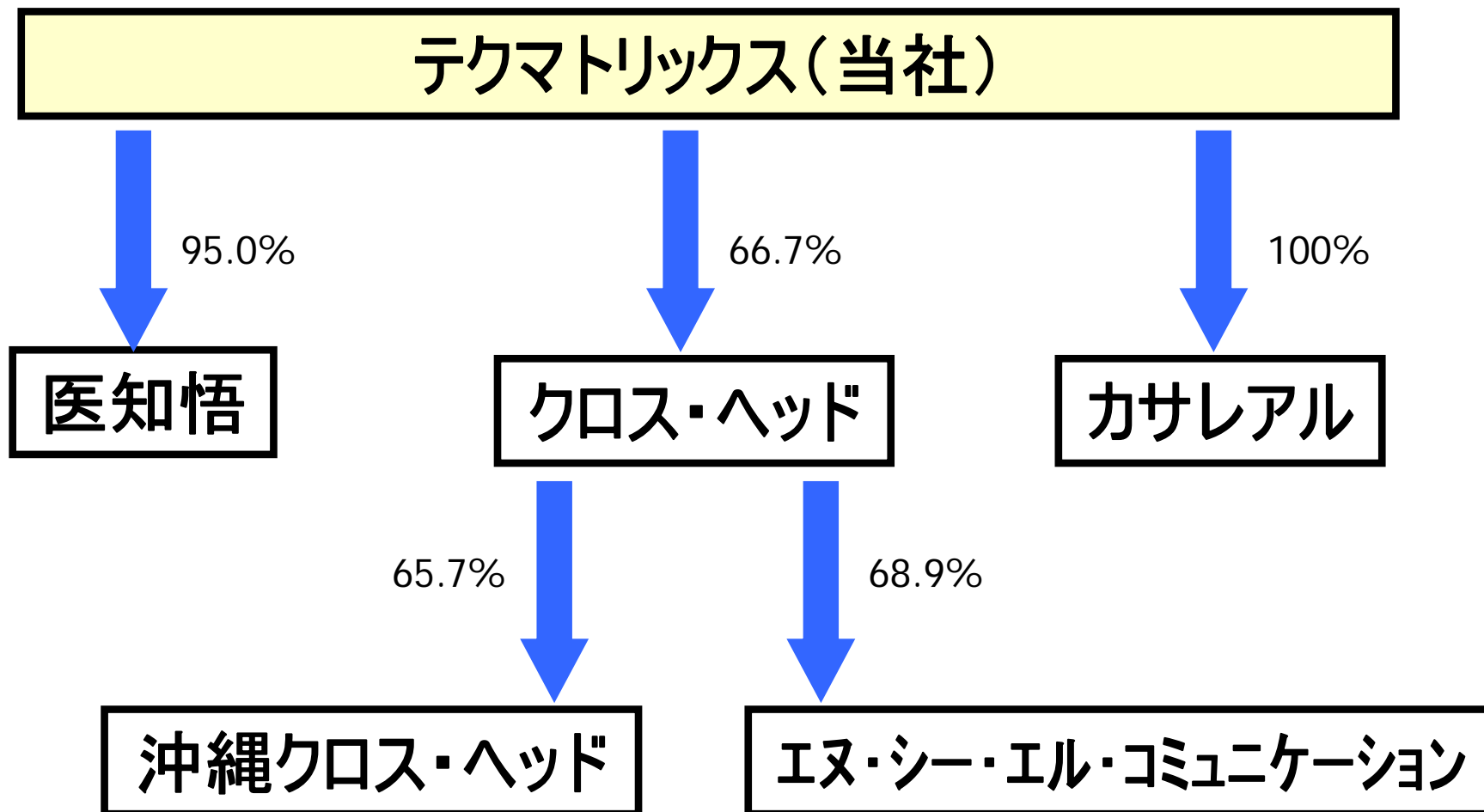
分野名	ソリューション	主要取扱製品	備考
ソフトウェア品質保証	プログラム開発の効率化	テストツールで トップシェア を誇る 米国PARASOFT社製品の独占販売	機能安全の要求

ソフトウェア品質保証分野では、ソフトウェアの品質向上を目標に、ソフトウェア開発過程の全ライフサイクルを支援するベスト・オブ・ブリード(※18)のツール及びエンジニアリングサービスを提供しています。情報家電、カーナビ、OA機器や携帯電話のソフトウェアのみならず、より高度な安全性実現を求めるコンプライアンスに対応する必要がある自動車、医療機器、ロボットなどのソフトウェア、金融システムのようなミッション・クリティカル(※19)なソフトウェア等が対象となります。

例えば、自動車製造におけるコンプライアンスとして、欧米を中心にソフトウェアの**機能安全**に関する国際規格が制定されようとしています。当社が販売する製品は、これに対応したソリューションとして注目を集めています。



グループ会社における当社持分比率

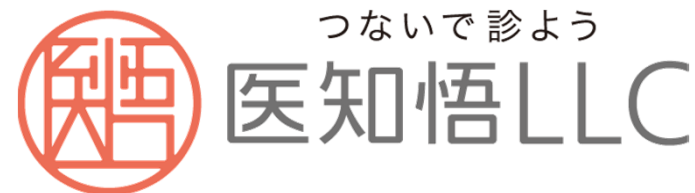




医知悟LLC

合同会社医知悟

商号	合同会社医知悟 (いちご)
所在地	東京都港区高輪4-10-8
設立	2007年8月1日
代表者	CEO 加納 裕士
資本金	1億5千万円
事業内容	遠隔診断を支援するIT情報インフラの提供 診断医師に対する業務支援情報サービス



iCOMBOX (あいこんぼっくす)

医知悟にとって

- 画像診断を必要とされる医療機関様
- 遠隔診断を始められる専門医の先生ご自身

2つの立場 どちらもお客様です。

医知悟LLCは、専門医の先生と病院様の間で締結される遠隔診断に関する業務委託契約には介入しません。独立した立場で、遠隔画像診断を実現する情報インフラのみをご提供して、両方の立場をご支援します。



合同会社医知悟

- 2008年4月のサービス開始より接続拠点数 **350**施設以上
- 月間の依頼検査数**8**万件
- 登録読影医**500**名以上
- 主な導入施設・プロジェクト

某自動車会社 健診施設

確実なセキュリティ対応により同施設で初めてインターネットによる外部診断が認められました。

文部科学省GP 島根大学医学部附属病院 女性医師キャリア維持支援プロジェクト

在宅女性医師の自宅と大学病院、連携医療機関を接続。ネットワーク上でのグループワークを支援しています。テレビ東京のワールドビジネスサテライトの取材も受けました。

その他の利用機関

東海大学医学部附属病院、国立病院機構豊橋医療センター他。また海外拠点、米国、フランス、オランダとの接続実績。



東海大学
医学部附属病院



国立病院機構
豊橋医療センター

クロス・ヘッド株式会社

商号	クロス・ヘッド株式会社
所在地	東京都港区赤坂2-17-22
設立	1992年9月14日
代表者	代表取締役社長 長 正三
資本金	3億9千5百万円
企業理念	「高度なネットワーク技術とヒューマンスキル」を基盤とし、「成長するネットワーク」を創造することによって顧客の発展・成長と社会への貢献を実現できる「バリュープロバイダ」を目指す

成長するネットワークを創造する



従業員**331名**、

ネットワーク技術に強み!!!

会社のカラーは、**濃紺**、そして**誠実**

従業員は、

スーツ着用、まじめでおとなしいが、

やる時はやる、縁の下の力持ち

会社のモットーは、**家族愛**、**平等の精神**



クロス・ヘッド株式会社

主要事業

ソリューション事業部

ネットワーク・ソリューション

ネットワークシステムのコンサルティング・設計・構築・運用・保守

BPO事業部

MSP

ネットワーク管理監視業務

BPO

システム運用業務

CPS

製品保守業務

エンジニア サービス事業部

エンジニアサービス

ITエンジニアの常駐派遣・請負業務

エンジニア エデュケーション

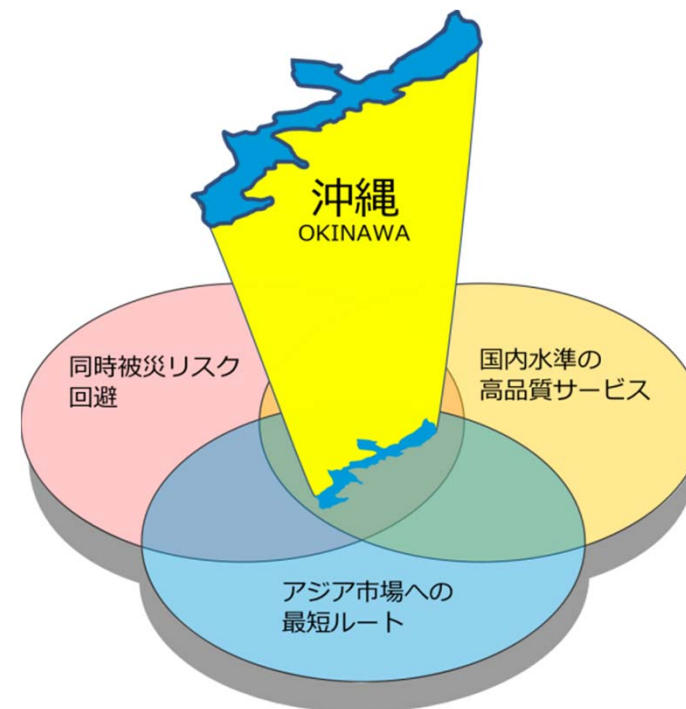
ITエンジニア育成

沖縄クロス・ヘッド株式会社

商号	沖縄クロス・ヘッド株式会社
所在地	沖縄県那覇市旭町114番地4 おきでん那覇ビル
設立	2006年6月21日
代表者	代表取締役社長 渡嘉敷 唯昭
資本金	51百万円
企業理念	沖縄と本土とを、ITネットワーク技術でつなぎ、 沖縄県 IT 産業発展と人材の育成に貢献します。

IT市場において、沖縄県は、サービス技術の利用企業、提供企業、両方にとって3つの大きな市場価値を持っています。

- ①立地の優位性(同時被災リスクの回避)
- ②距離の優位性(アジア市場への最短ルート)
- ③コストパフォーマンスの優位性
(国内水準の高品質サービスを、低価格で)



沖縄クロス・ヘッド株式会社

■エンジニアサービス

沖縄県内のIT関連企業様に対して、当社のネットワーク技術者が様々な高品質のネットワーク技術サービスを提供しております。

- ・ネットワークシステムのコンサルティング・設計・構築・保守
- ・ネットワークエンジニア派遣
- ・24h・365dネットワーク運用監視サービス
- ・テストサービス(テスト業務)

■プロダクトサービス

沖縄県のデータセンター内に設置した自社システム設備を使って、県内外、そしてアジアへと、ネットワークを使ったプロダクトサービスの提供を行っております。

- ・沖縄クロスヘッド、自社ブランドクラウドサービス『CUMO(キューモ)』

⇒CUMO platform: ブラウザから数分でサーバを構築・利用開始出来る

クラウドホスティングサービスの提供

⇒CUMO appsuite: グループウェア、WEBデータベース、WEBメール等、様々なアプリケーションをクラウド上から提供

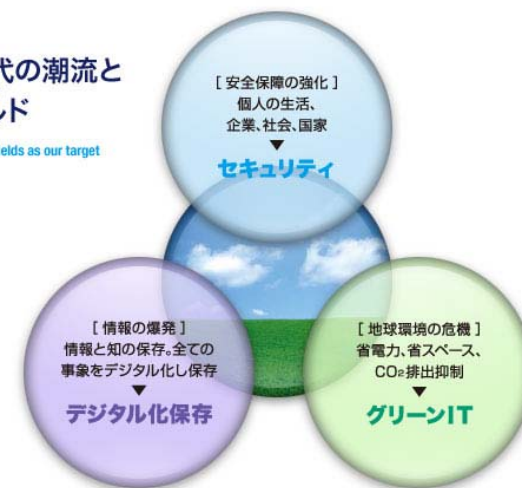
- ・GIX 沖縄－香港直結高速回線サービス

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

商号	エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社
所在地	東京都港区赤坂2-17-22
設立	1986年3月13日
代表者	代表取締役社長 関根 尚
資本金	1億1,618万円
経営理念	お客様、パートナー様、社員の幸せを実現する経営 企業としての社会的使命を追求する経営 新たな市場を切り開いていく経営

我々の考える時代の潮流と
ビジネスフィールド

Trends of the times and business fields as our target



ニッチだがミッションクリティカルな分野でNo1を目指すIT技術商社

25年間の海外IT技術商社としての市場実績と技術蓄積。

**優れたIT技術・IT製品を世界中から発掘し、国内販売パートナー様と共に
スピーディーに日本で展開することを得意技とする。**

エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社

■OpenFlowによる仮想ネットワークの構築

- ・NTTデータとパートナー契約を締結し、クラウド時代に求められる柔軟かつ迅速性のある仮想ネットワークソリューションを低コストで提供。

■ノートPC紛失・盗難による情報漏洩対策ソリューション

- ・「暗号化」による情報漏洩対策ソリューション
大企業だけでなく、行政関連官公庁、警察関連官公庁に多くの実績
- ・暗号化以外でも、紛失・盗難PC追跡サービス等トータルなエンドポイントセキュリティ商品をライナップ
- ・コンプライアンス強化、企業リスクマネジメントと強化のため今後ますます需要拡大

■超大容量高密度グリーンストレージ

- ・「全てはデジタル情報へ」～ビッグデータ時代の超大容量高密度ストレージソリューション。
- ・情報大航海プロジェクト主管の東京大学喜連川研究所等で2PetaB、様々な国立研究所で大規模導入。

■カスタマーセンター通話録音ソリューション

- ・コンプライアンス、顧客トラブル対策のために全ての通話を記録・保存・再生
- ・大手証券会社、大手消費者金融会社の全国コールセンターに大規模導入実績



CASAREAL 株式会社カサレアル

商号	株式会社カサレアル
所在地	東京都品川区北品川4-7-35
設立	1999年7月2日
代表者	代表取締役社長 窪 伸一郎
資本金	5千万円
主要顧客	楽天株式会社、楽天グループ各社、株式会社JSOL、株式会社アイ・ティ・フロンティア等

【事業内容】

●システム開発サービス

- ◇JAVA・PHPを用いたWebアプリケーション開発
- ◇Androidベースのアプリケーション開発

●技術教育サービス

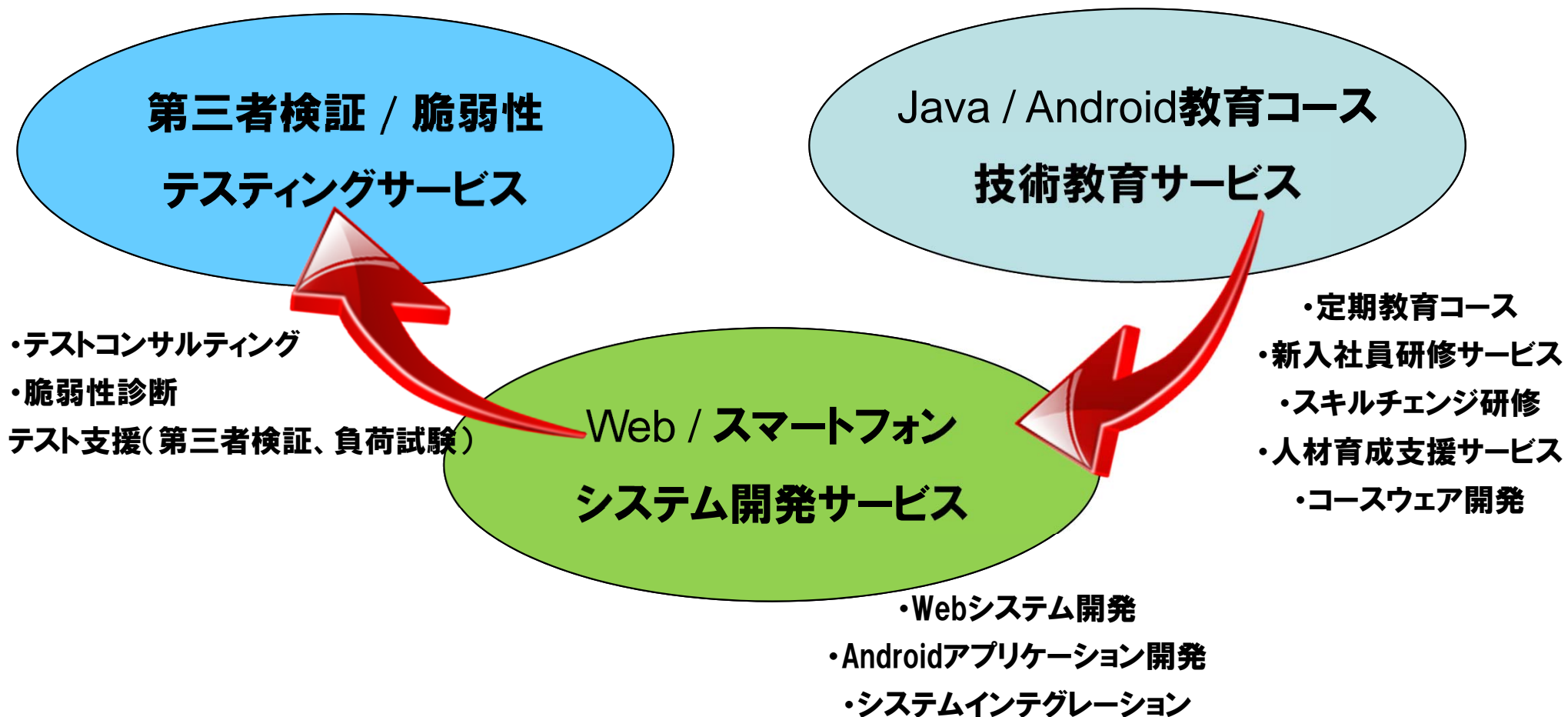
- ◇システム開発経験者によるエンジニア向けの実践技術教育

●テストサービス

- ◇テストコンサルティングサービス



CASAREAL 株式会社カサレアル



- 長年の実績、経験を生かし、オープンソースをフルに活用したシステム開発を支援。
- アプリケーション開発支援から技術者研修まで Android に特化したサービスの提供。
- 高品質なシステム構築を実現すべく、開発上流工程から下流まで幅広くテストを支援。

用語解説

※1	負荷分散	ウェブサイトへのアクセス集中による反応の低下やシステム停止を防止するため、多数のアクセス(“負荷”)を適切にサーバに振り分ける(“分散”する)こと。
※2	次世代ファイアウォール	従来のファイアウォールでは防ぐことのできないセキュリティの脅威に対応した製品。例えば、通常のインターネット利用に紛れて内部に侵入し、情報漏えいを引き起こす最近のサイバー攻撃や、流れるデータに対する木目細かい制御が必要なファイル共有ソフト等による情報漏えいを防ぐ。
※3	仮想化	コンピュータシステムを構成する資源(サーバ、ストレージ、ソフトウェア等)に関する技術。複数から構成されるものを論理的に一つのもののように見せかけて利用できたり、その逆の、一つのことを論理的に複数に見せかけて利用できる技術。
※4	ソリューション	業務上の問題点や要求の実現をコンピュータシステムを構築して処理を行うことにより解決すること。
※5	ストレージ	コンピュータで処理に使うプログラムやデータを記憶する装置のこと。外部記憶装置。
※6	サーバ	コンピュータシステムにおいて、クライアントコンピュータに対して、自身の持っている機能やデータを提供する側のコンピュータのこと。サーバコンピュータ。
※7	CT	コンピュータ断層撮影装置。医用検査装置の一つ。
※8	MRI	核磁気共鳴画像撮影装置。医用検査装置の一つ。
※9	PET	陽電子放射断層撮影装置。医用検査装置の一つ。
※10	コールセンター	顧客からの問い合わせなどの電話対応業務を専門に扱う窓口・拠点。
※11	オンプレミス	情報システムを利用するにあたり、自社管理下にある設備に機材を設置し、ソフトウェアを配備・運用する形態のこと。
※12	クラウド	クラウド(雲)はインターネットのことを意味する。従来はユーザがハードウェア、ソフトウェア、データを自分自身で保有、管理していたのに対して、これらをユーザが保有せずにインターネット経由で利用できるようにするサービス提供の形態。
※13	SaaS	ソフトウェアを販売するのではなく、ユーザが必要な機能をインターネット経由で利用してもらうサービス提供の形態。Software as a Serviceの略。

用語解説

※14	システム開発	コンピュータシステムの設計、プログラミング、テスト等を行うこと。
※15	テスト	構築したシステムが設計どおりにプログラムされ、適切に機能するかどうかなどの確認を行うこと。
※16	デリバティブ	基礎となる金融商品等(債券、為替、金利等)の市場価格によって相対的に価格が変動する金融商品等を指す。金融派生商品とも言う。
※17	信用リスク	債務者がその債権を履行できなくなるリスク。
※18	ベスト・オブ・ブリード	同一メーカーのシリーズ製品を使うのではなく、メーカーが異なっても最良と思われる物を選択し、その組み合わせで利用すること。
※19	ミッション・クリティカル	24時間365日、止まらないことを要求されるコンピュータシステムのこと。